



大阪教育合同労働組合 講師協議会 第2037号 大阪市中央区北浜東1-17 日本ワイドデータビル8階 06-4793-0633

06雇用継続闘争全面的勝利!!

全員の継続雇用確定!

今年の雇用継続闘争は全体的に早い時期で雇用が確定し、最終的に3月30日に、残っていた仲間の雇用が確定しました。

内容的にみても、希望が実現したケースが多くありました。府立学校での全員の同一校継続の実現など、多くの仲間が同一校での継続となりました。これは「正採と同じように講師の希望も最大限に尊重して人事異動せよ。」と言ってきた組合の要求が実現した結果です。(まだ完璧ではありませんが)その意味でも今年の雇用闘争は「全面的勝利」であると言つてよいでしょう。府教委との団体交渉では人事担当者の出席を実現



させ、講師一人一人が自らの要求書を手渡し、それぞれの思いを直接人担にぶつけました。昨年までの交渉が窓口相手であったために言いたいことが直接伝わらないと言っていた思いがありました

4月の講師協議会

雇用闘争も終わり、それぞれの職場で新しい年度の活動が始まっていることと思います。

今年の雇用闘争の総括を行い、今後の講師協議会の進め方について議論をしていきたいと思ひます。誘い合わせて参加して下さい。

記

日時 4月15日(土)

2時~4時

場所 組合事務所

議題

- 1)今年の雇用闘争の総括
- 2)今年度の協議会の活動内容と、運営体制について
- 3)職場交流
- 4)その他

が、今年は1つ前進した交渉が実現しました。また、3月16日という、闘いの中間の時期に集会を開き、交渉を持つことができました。この日の交渉で大半の雇用見通しが立てられ、団体交渉の成果が感じられました。

4月から政令指定都市になる堺支部でも、早くから独自の雇用闘争を展開し、今年は新たに幼稚園講師の雇用も獲得しました。



講師を取り巻く差別的状況

雇用闘争では勝利を収めることができましたが、講師を取り巻く職場の状況はまだ差別的な部分が多くあります。大阪支部では雇用獲得闘争とともに働きやすい職場の実現を目指して闘っています。大阪市教委との団体交渉でも、雇用要求とともに小、中学校の人事担当者(教職員課係長)に直接講師一人ずつが、どんな差別的な扱いを受けているのか、その生の声を突きつけました。

大阪支部では継続雇用について一定要求を実現させました。その次の闘いとして、講師も正採と同一労働をしているのだから、正採と同じように残留を希望しているのなら同様に扱うよう強く要求してきました。もう一点、中学校では「教科の枠がない」という理由で首切を行わせないために「正採なら同じ理由で首を切らないだろう」と市教委に雇用責任を果たすように強く要求していきました。団体交渉での講師の声を紹介します。

中学校

- ・1年限りの有期雇用の為、3年間を通しての見通しが見つからない不安定にならざるを得ない。安定的な同一校での継続雇用をお願いしたい。
- ・校長から、講師なので担任をさせない、と言われた。担任を持ちたかつたのに非常に残念だった。
- ・新学期の転勤者紹介で、職員の名簿に職名が書いてある。講師と書かれるだけで、保護者や生徒から違った目でみられるのでこういうのは止めてほしい。
- ・講師に対する現場での待遇が悪い。学年所属の希望も聞いてもらえず、新転任で3名きたらその新転任の正採の先生から先に希望を聞いていって、講師は最後で誰も持ち手のない荒れた学年を持たされた。
- ・3年 3年 1年 3年といびつな学年所属になっている。」

小学校

- ・1週間に28時間も持たされている。
- ・クラブの顧問を持つているが校外試合の引率の時に肩書きが教諭になっている。来年はまた別のクラブを持つてほしいと言われている。
- ・3年続いて同じ学校に勤務していると親や子どもともつながりができずスムーズに行っている。また、全然知らない学校へ行くよりも知っているとの方がやりやすい。
- ・残留を希望している。安い給料で毎日6時30分すぎまで時間外労働させられている。8時、9時までの時もある。
- ・4月の校内人事の時にはいつも、何にも要望を聞いてもらえない。決まった後であるから。一番弱い立場の、一番給料の安い講師から希望を聞くのが筋ではないか。小学校の高学年はどこもしんどいので持ち手がない。講師で病気になるたらどうしようもない。病気になるても雇ってくれるんですか。
- ・年休をとるのも慣れない学校では気がつかつてしまふ。年休をとるためにプライベートまでさらけださなければならぬ。職場が変わるたびにプライベートの切り売りをしていくにも等しいと言わざるを得ない。
- ・校内人事のことも正採なら事前に希望を聞いてもらえるが、講師は4月1日に行つたらもうみんな決まつた後だ。
- ・小学校の高学年を持つのをイヤと断れないのを分かつていて、講師に持たされる。

